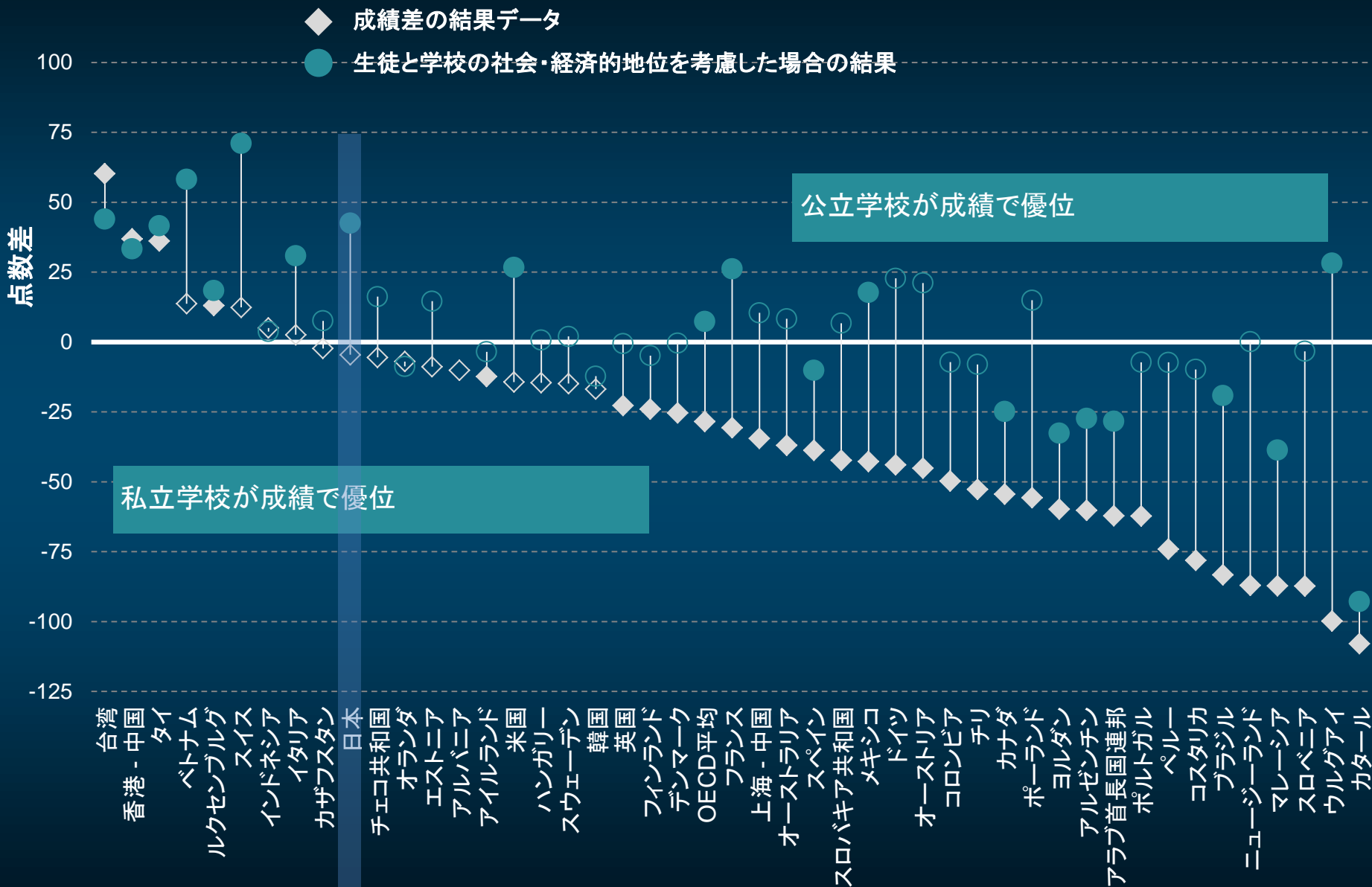


国内にチャータースクールがいくつあるかが問題なのではない...

...いかに各国が各学校にチャーター的な裁量を与えるかが問題だ

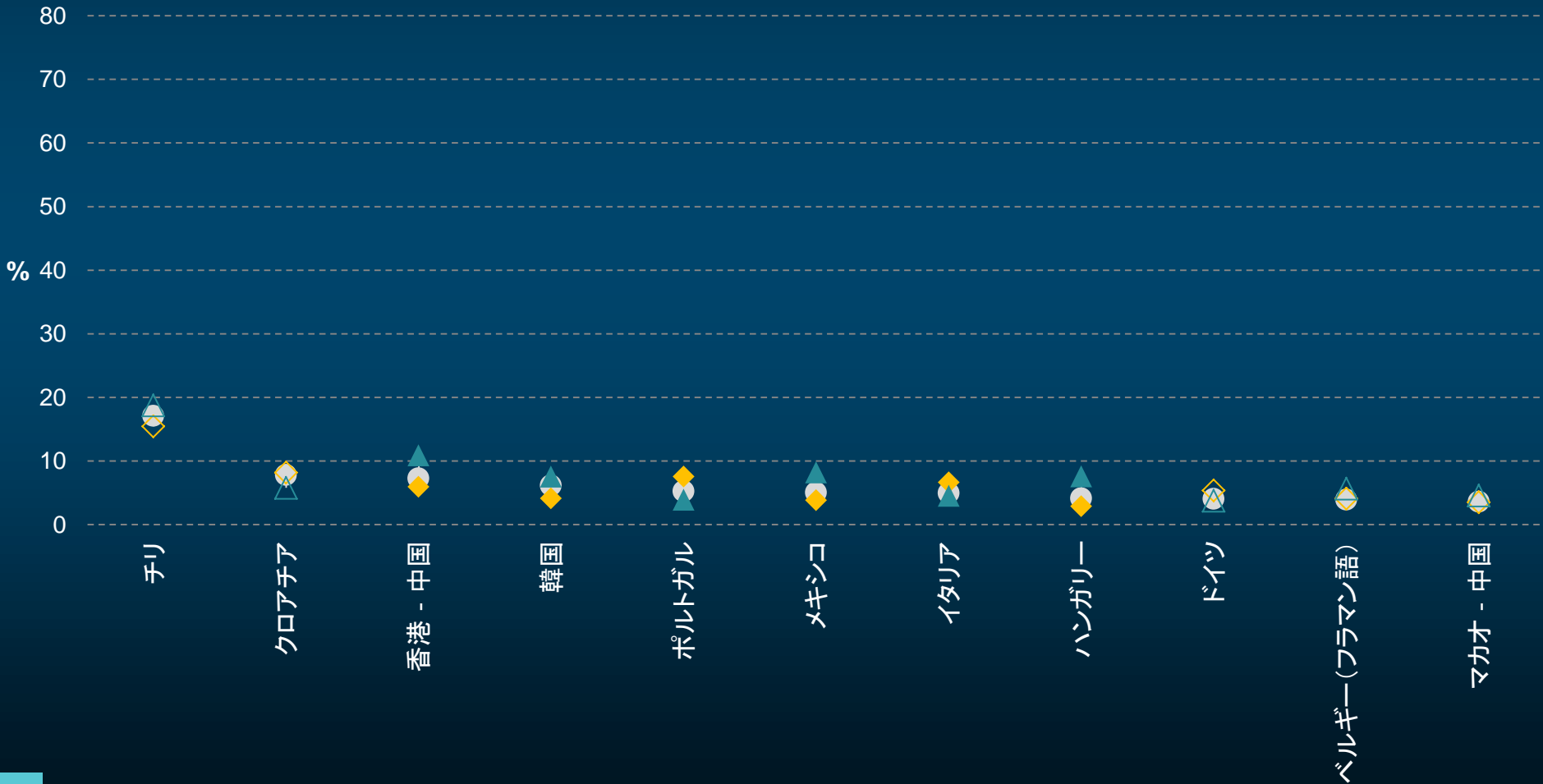
公立学校と私立学校の数学の成績の差は、社会・経済的地位を考慮すると大きく縮んでいる

図 IV.1.19



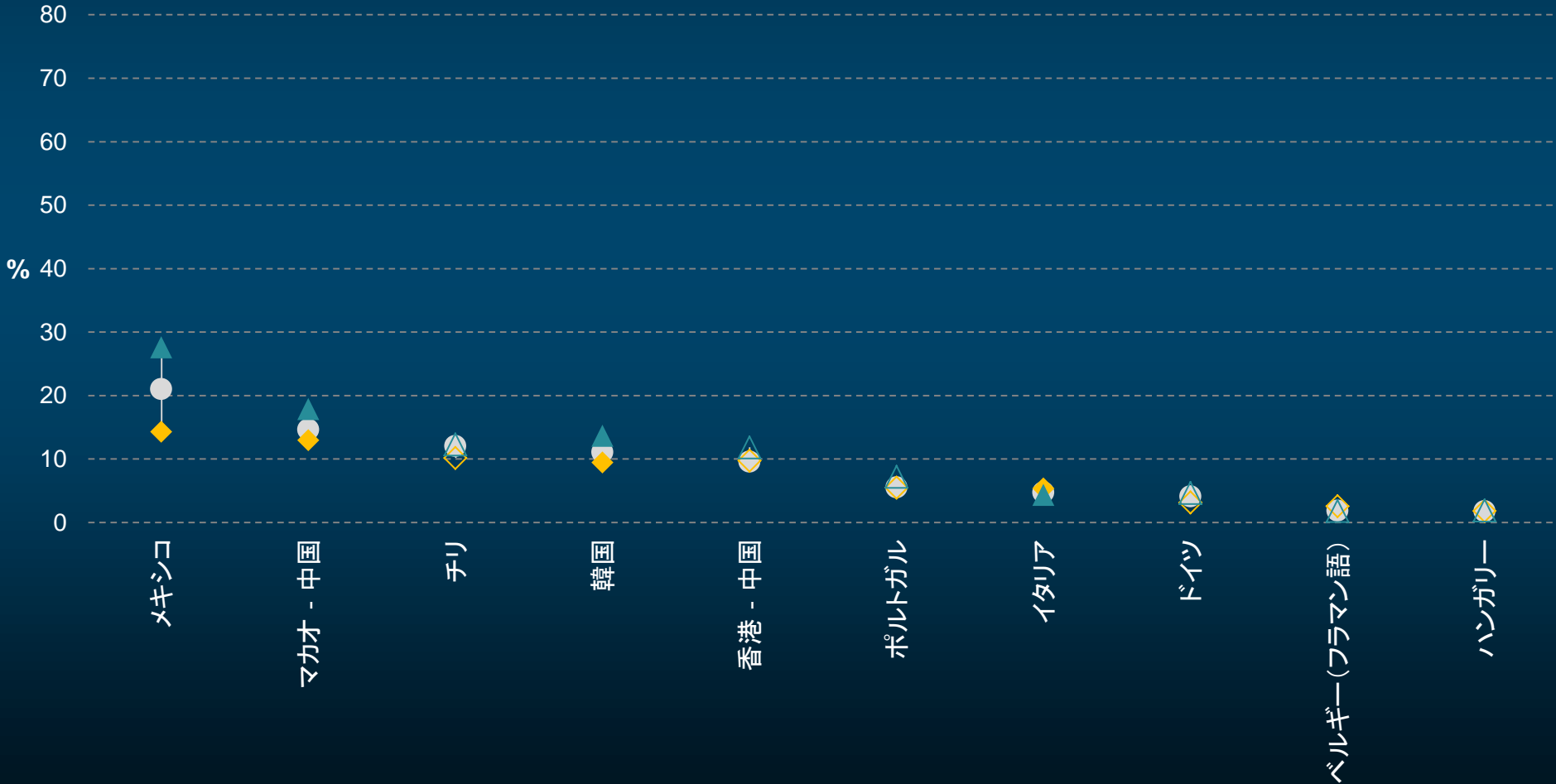
学校が特定の**宗教**哲学を掲げているかどうか、子どものための学校選びにおいて非
常に重要な判断基準になると答えた親の割合

- すべての親
- ◆社会・経済的地位が下位25%の親
- ▲社会・経済的地位が上位25%の親



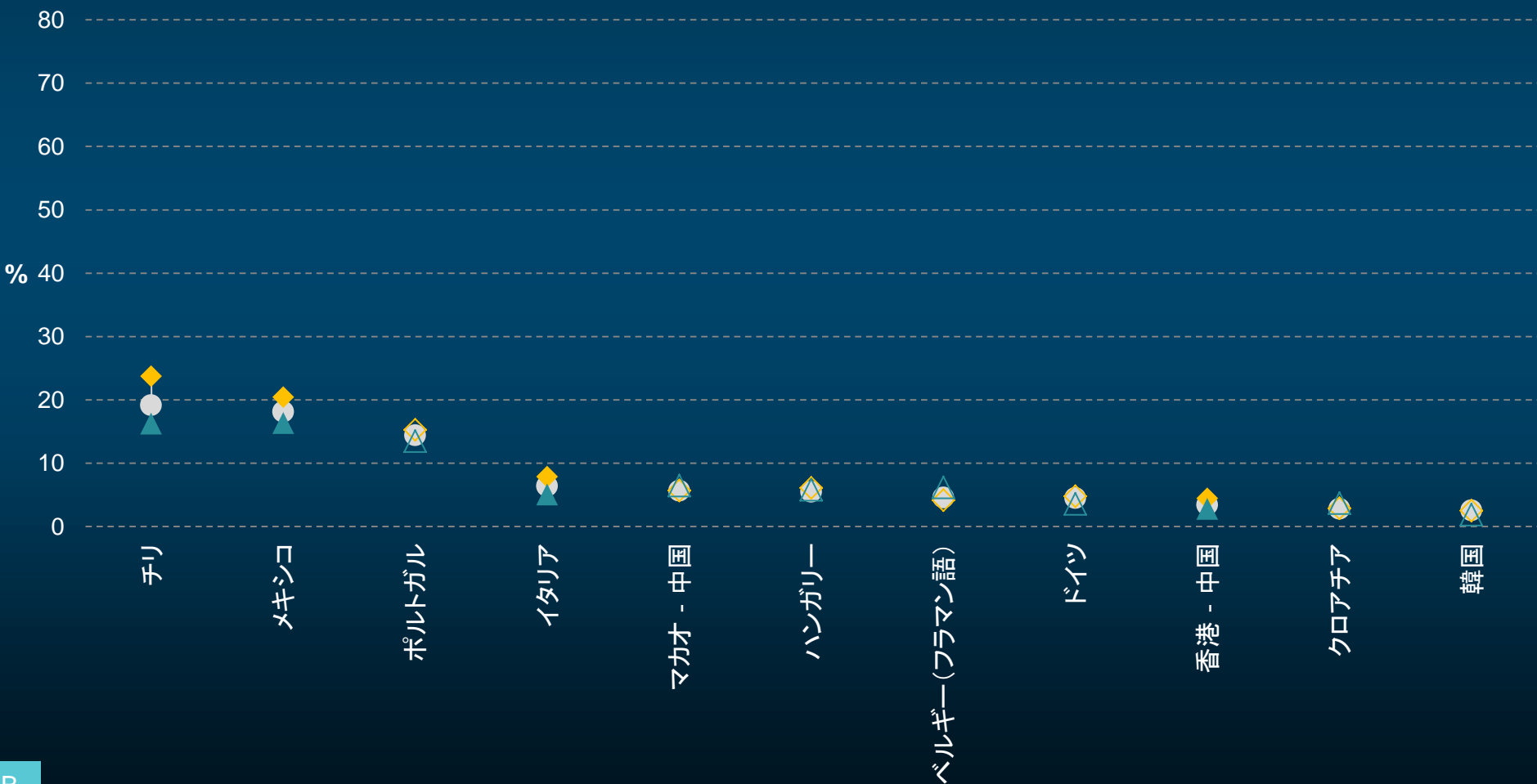
教授法に対する具体的な姿勢が子供のための学校選びにおいて非常に重要な判断基準だと答えた親の割合

- すべての親
- ◆社会・経済的地位が下位25%の親
- ▲社会・経済的地位が上位25%の親



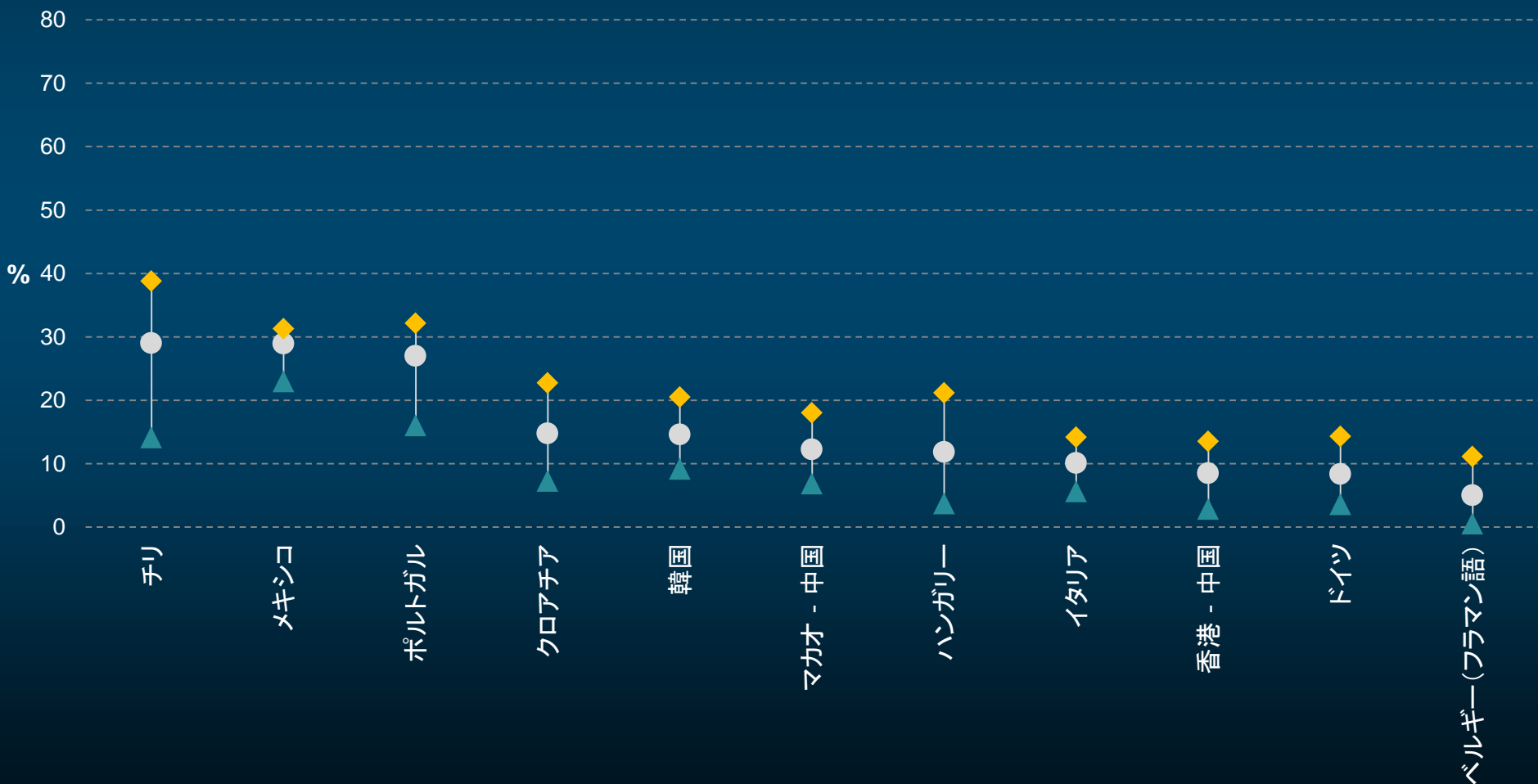
家族内の他のメンバーがその学校に通ったということが子供のための学
校選びの重要な判断基準になると答えた親の割合

- すべての親
- ◆社会・経済的地位が下位25%の親
- ▲社会・経済的地位が上位25%の親



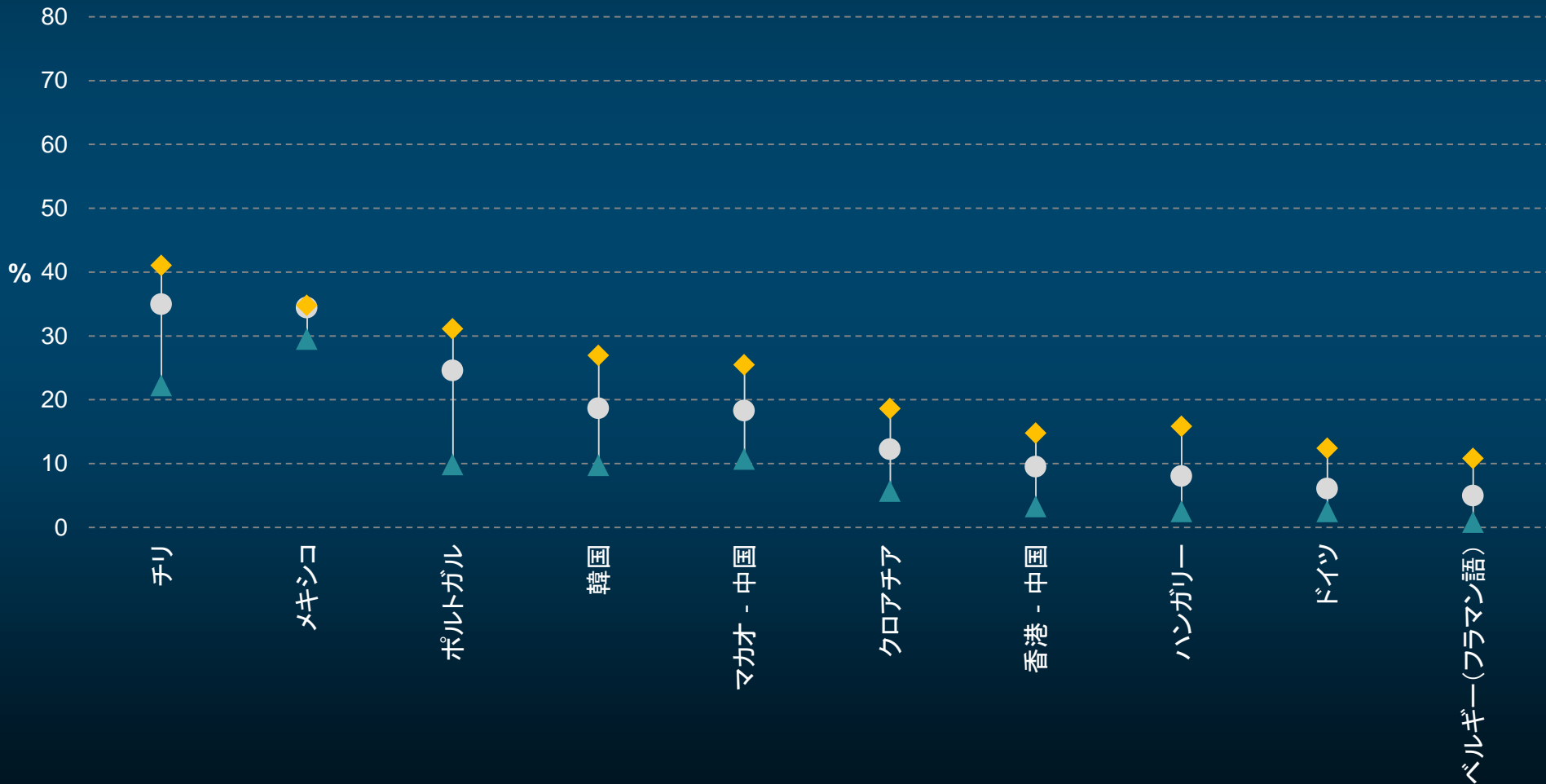
授業料、本代、部屋代・食事代などの費用が、子供のための学校選びにおいて非常に重要な判断基準だと答えた親の割合

- すべての親
- ◆ 社会・経済的地位が下位25%の親
- ▲ 社会・経済的地位が上位25%の親



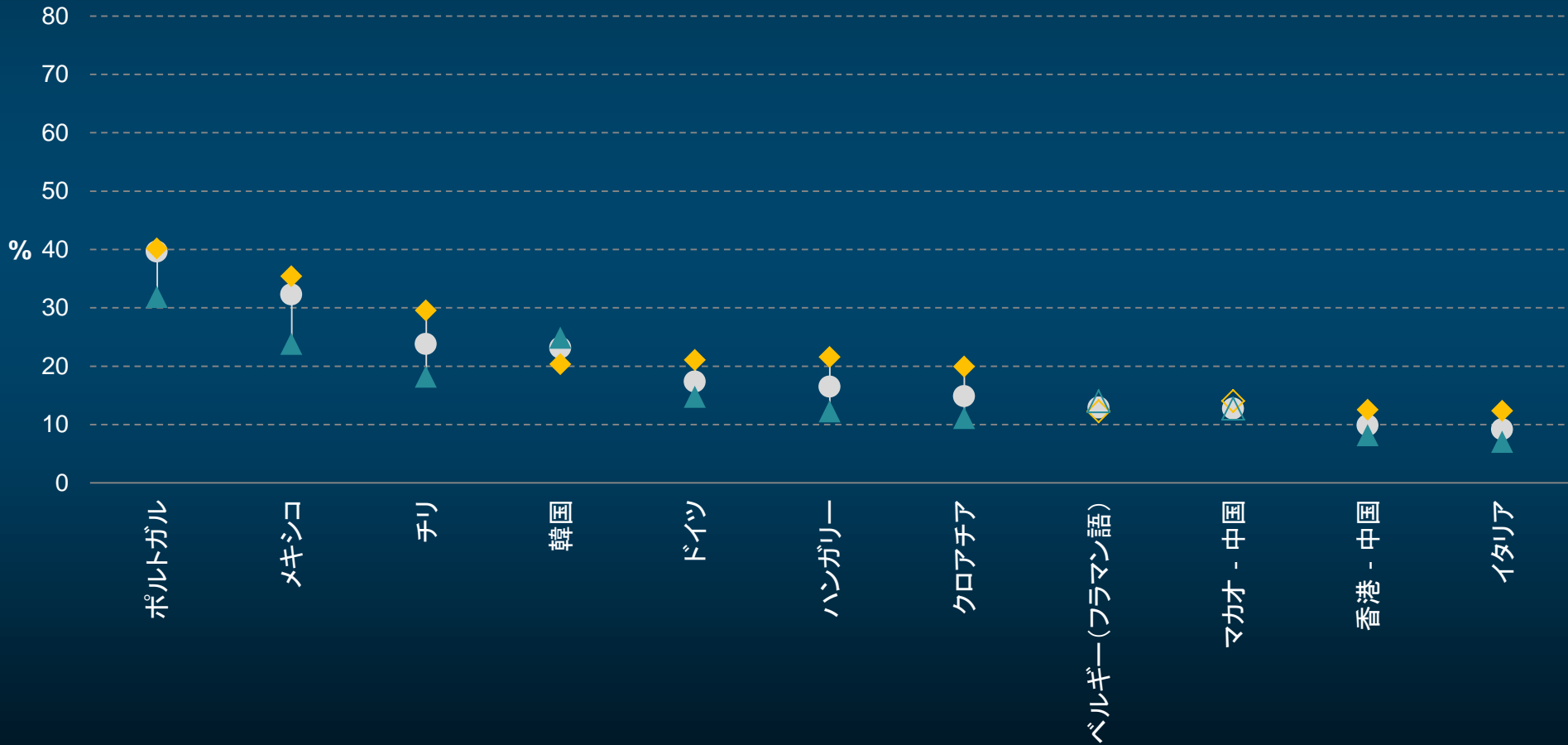
教育ローンや奨学金・助成金などの財政援助が受けられるかどうか、子供のための学校選びにおいて非常に重要な判断基準になると答えた親の割合

- すべての親
- ◆社会・経済的地位が下位25%の親
- ▲社会・経済的地位が上位25%の親



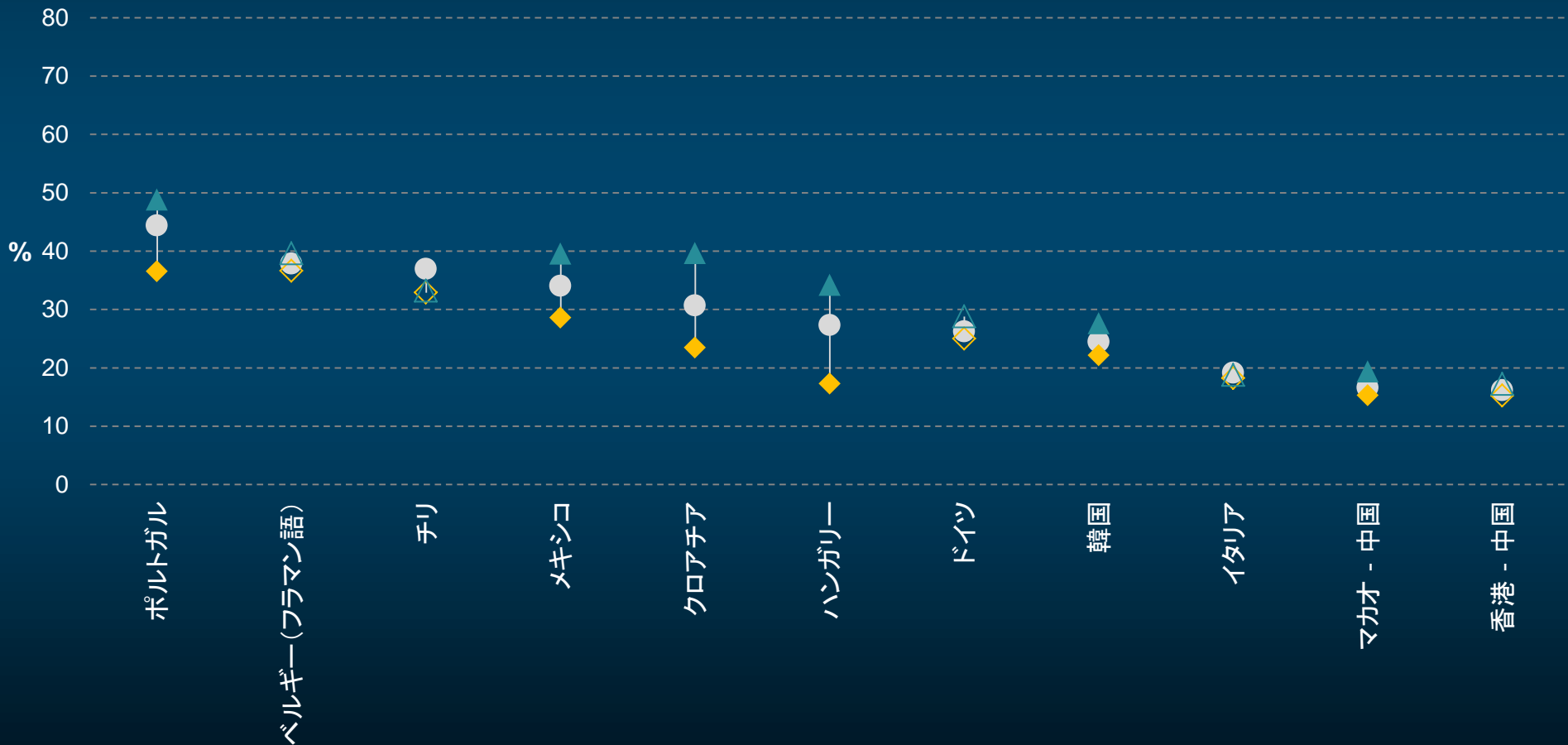
家から学校までの距離が、子供のための学校選びにおいて非常に重要な判断基準になると答えた親の割合

- すべての親
- ◆ 社会・経済的地位が下位25%の親
- ▲ 社会・経済的地位が上位25%の親



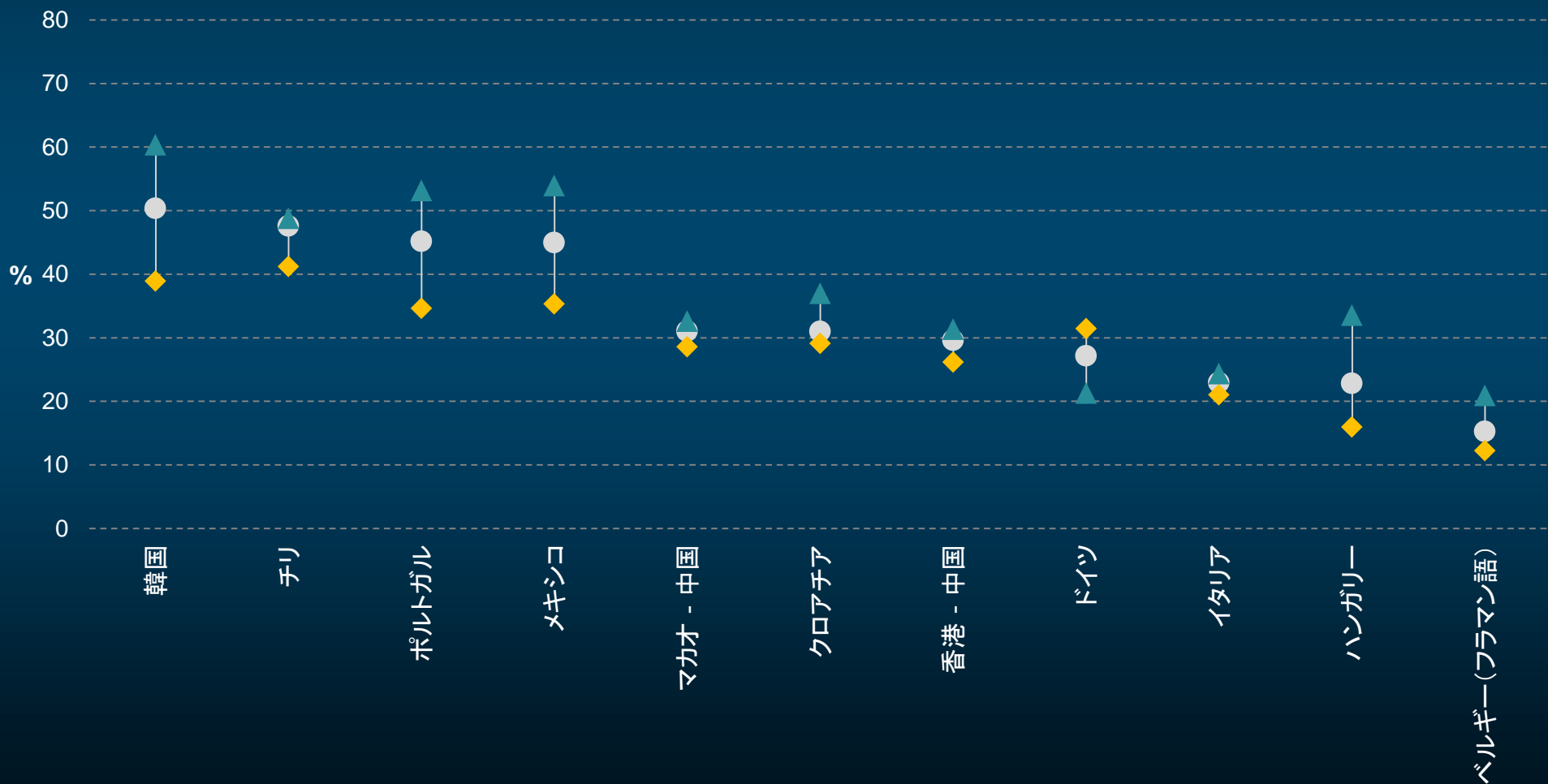
学校が提供する特定の科目や教科が、子供のために学校を選ぶ際の非常に重要な判断基準になると答えた親の割合

- すべての親
- ◆社会・経済的地位が下位25%の親
- ▲社会・経済的地位が上位25%の親



生徒の学業成績の高さが、子供のための学校選びにおいて非常に重要な判断基準になると答えた親の割合

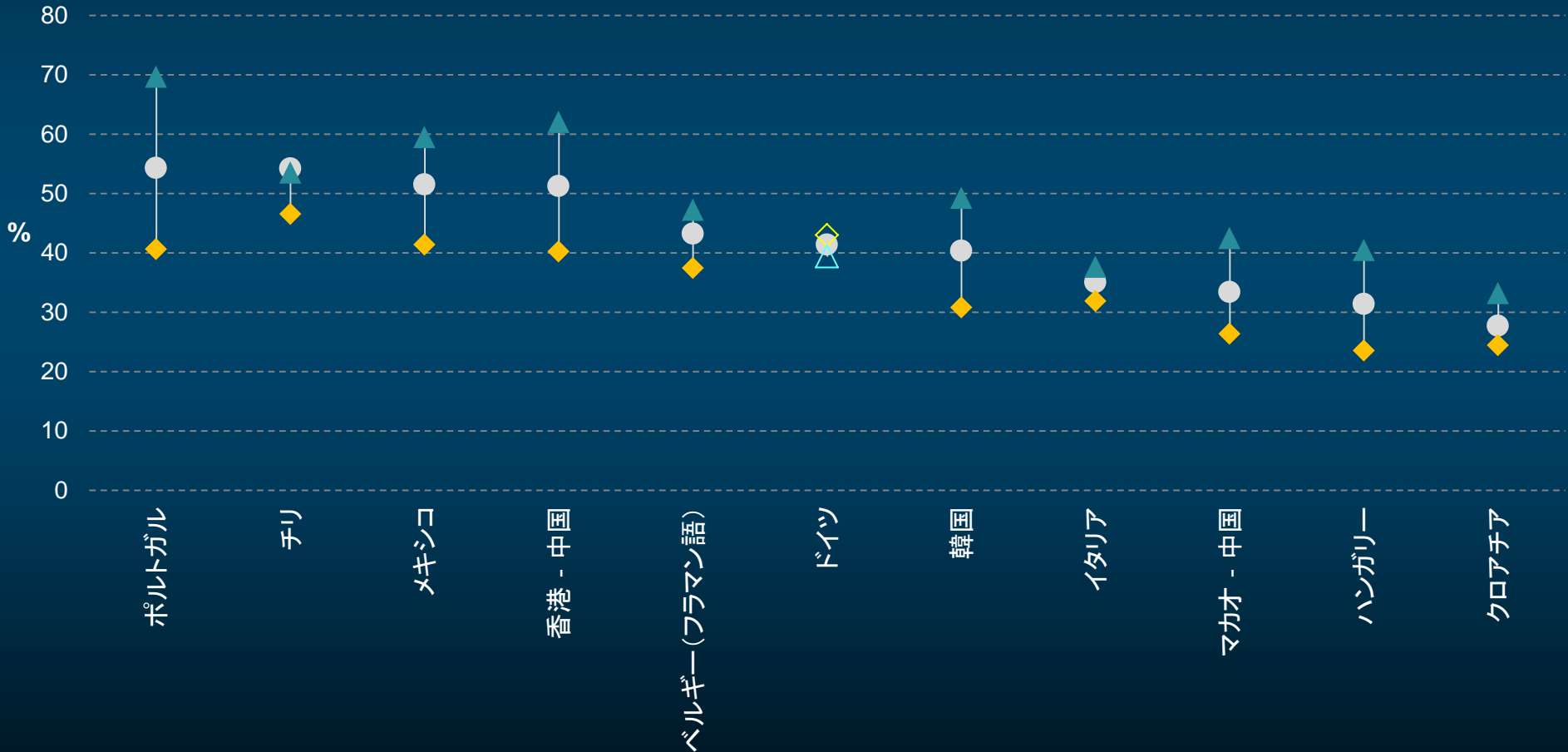
- すべての親
- ◆社会・経済的地位が下位25%の親
- ▲社会・経済的地位が上位25%の親



学校の評判は、有利な立場の世帯にとって非常に重要な検討事項

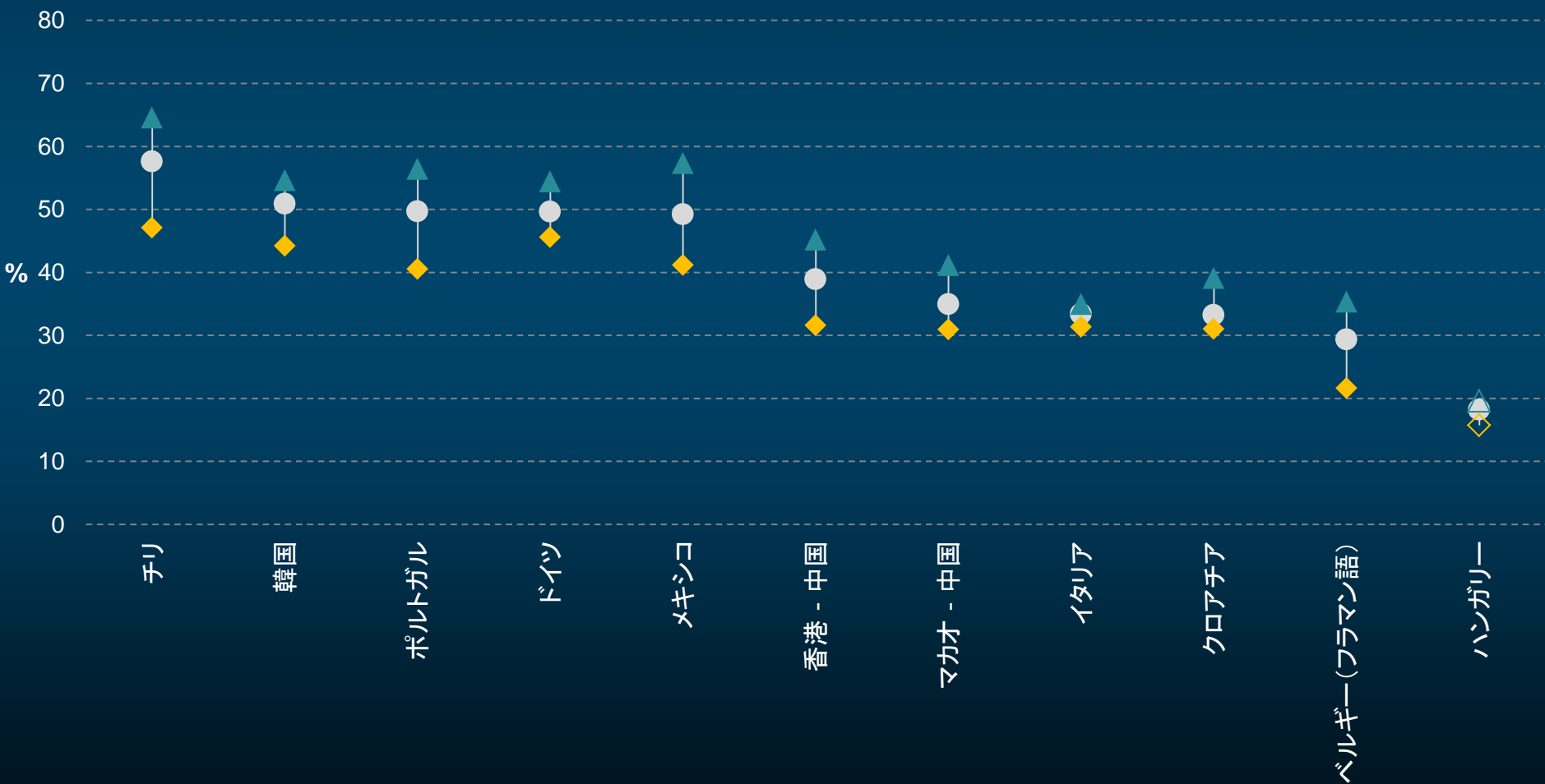
学校の評判が良いことが、子供のための学校選びにおいて非常に重要な判断基準になると答えた親の割合

- すべての親
- ◆ 社会・経済的地位が下位25%の親
- ▲ 社会・経済的地位が上位25%の親



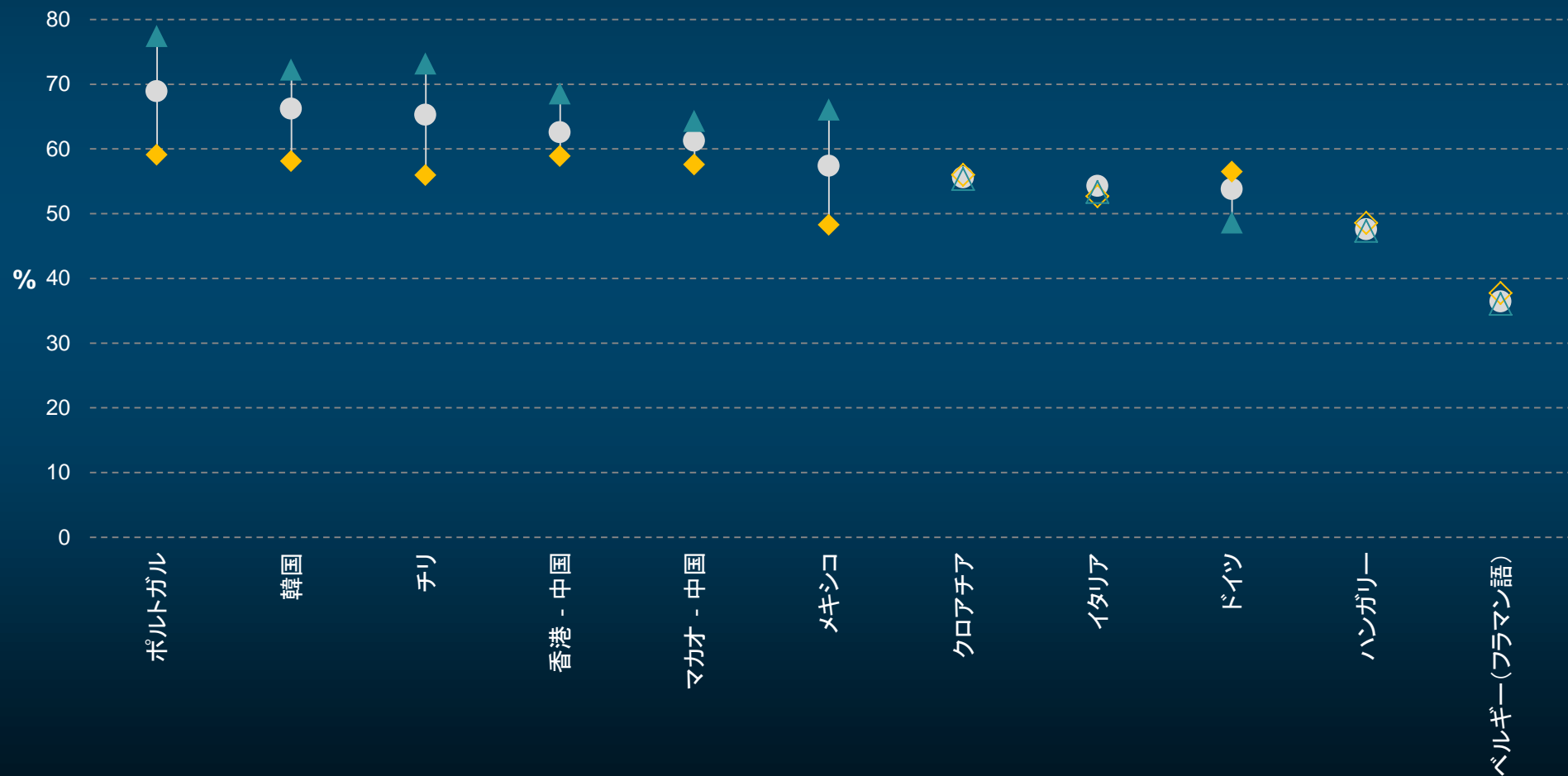
活動的で楽しい雰囲気が、子供のための学校選びにおいて非常に重要な判断基準になると答えた親の割合

- すべての親
- ◆ 社会・経済的地位が下位25%の親
- ▲ 社会・経済的地位が上位25%の親



安全な学校環境が、子供のための学校選びにおいて非常に重要な判断基準になると答えた親の割合

- すべての親
- ◆ 社会・経済的地位が下位25%の親
- ▲ 社会・経済的地位が上位25%の親



結果への影響が大きい

必須

即効性

教育現場

□ 最も違いを生み出せるところに資源を投資する

- 主な課題に適した資源を使う（例：最も困難なクラスに最も有能な教師を勧誘する）
- クラスの小規模化よりも質の高い教師を優先するような、効果的な費用支出の選択

一貫

実現しにくい

実現しやすい

インセンティブ構造と説明責任

お金の無駄

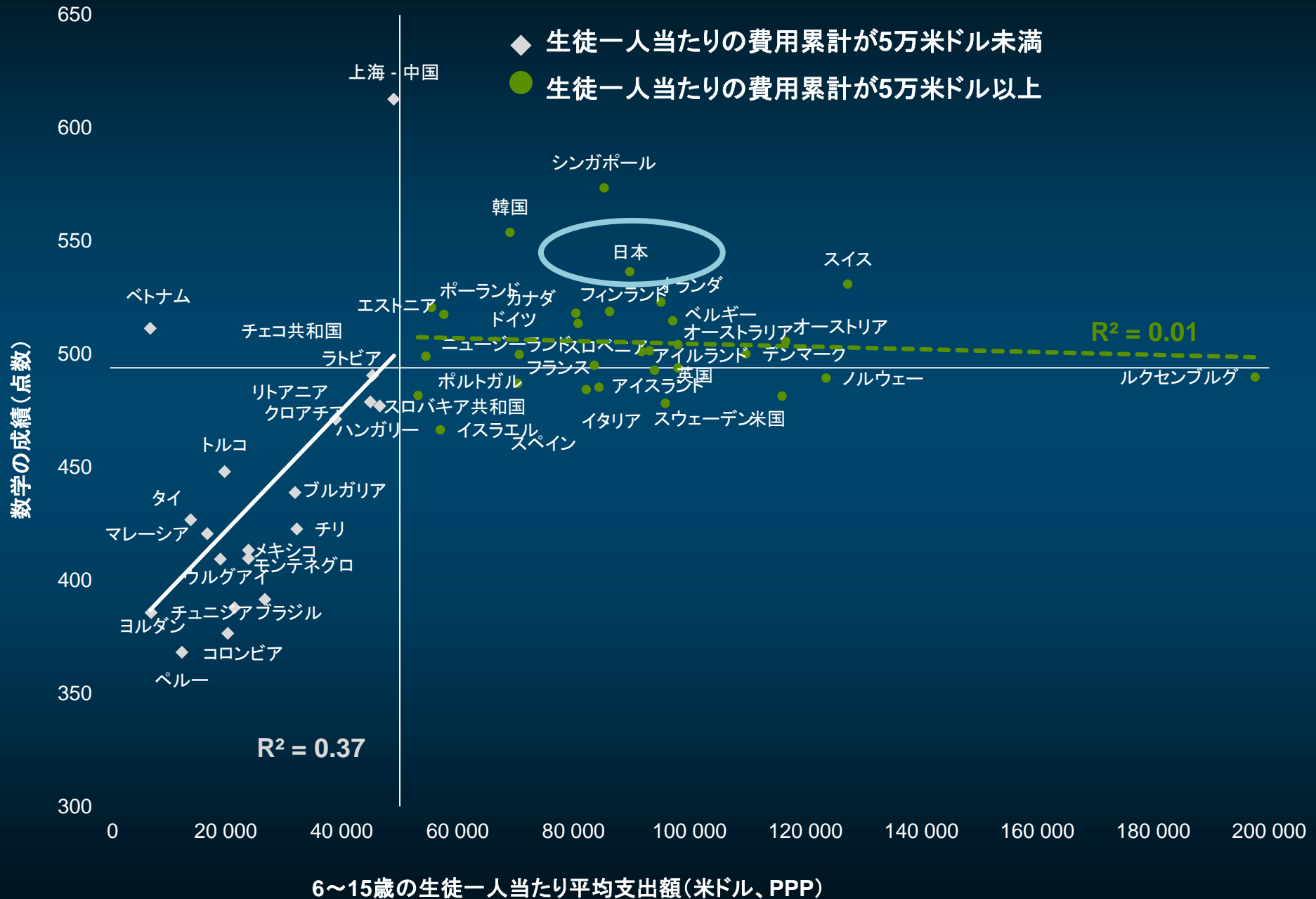
容易に達成可能

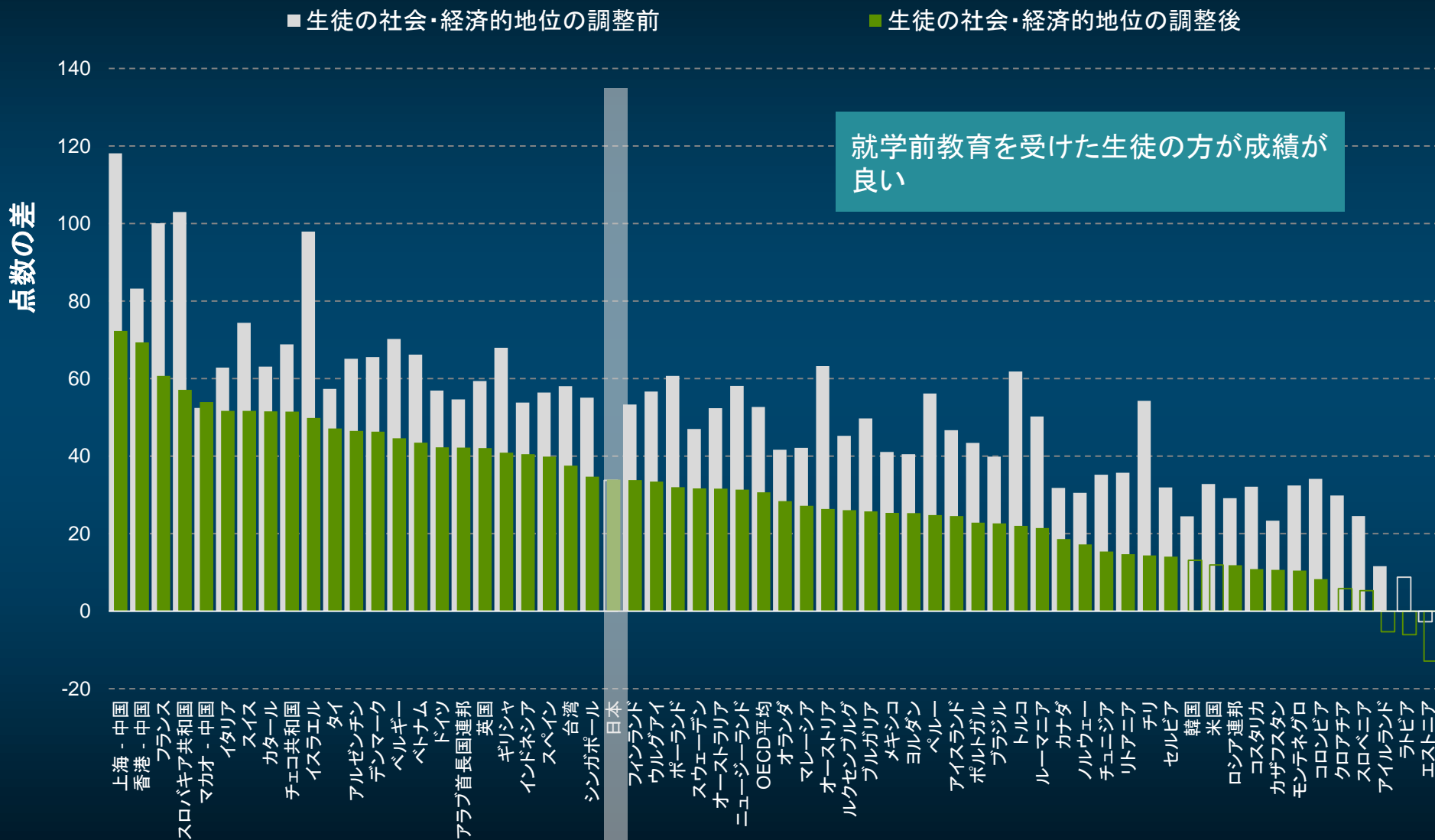
結果への影響が小さい

お金が違いを生み出す...

...ただし、ある程度まで

6~15歳の生徒一人当たり支出額と数学の成績、2012年PISA

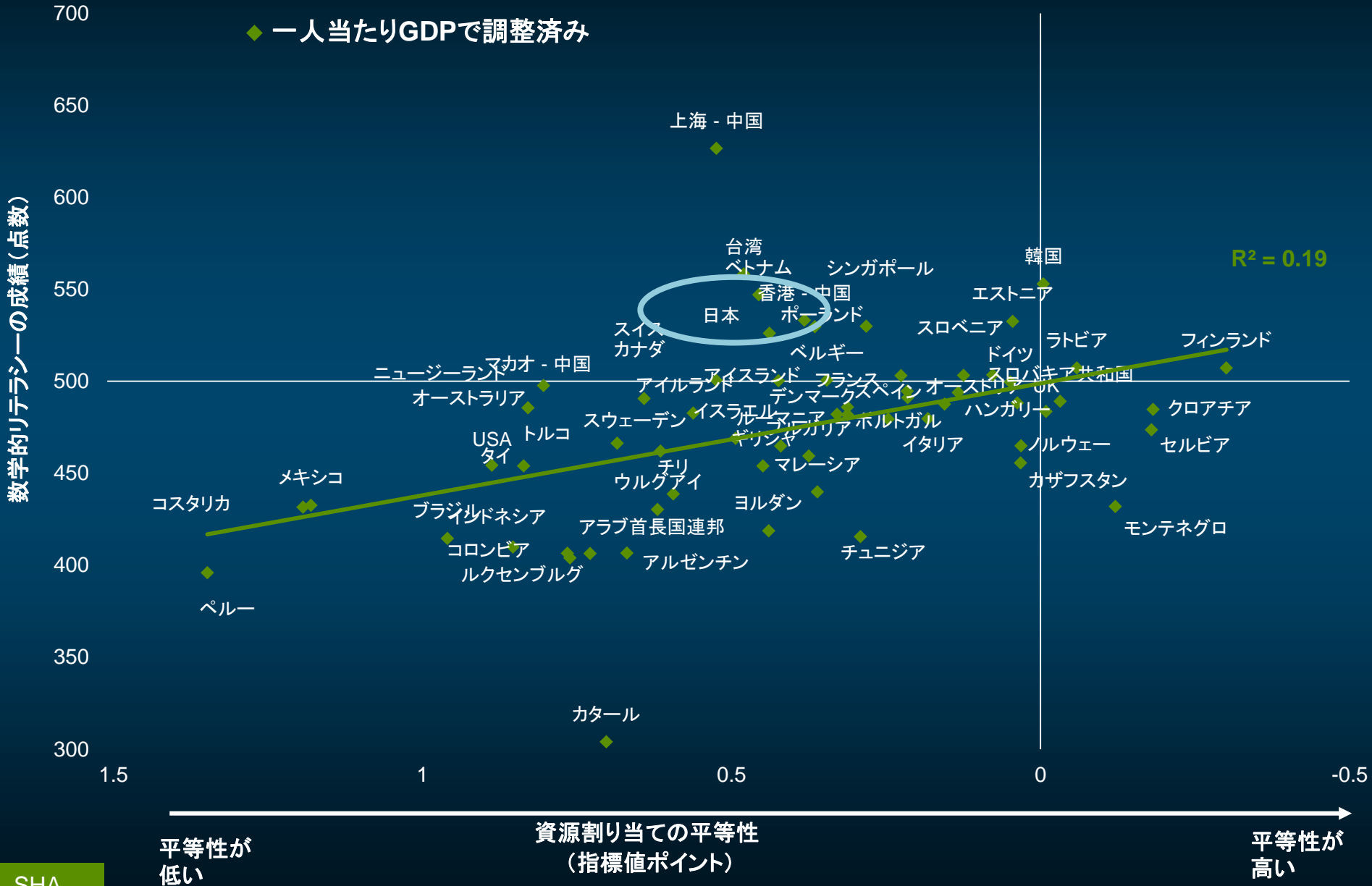




- 各国国内では、授業時間は成績と正の関係
 - 社会・経済的要因と人口動態要因を考慮した場合も当てはまるが、国家間でデータを比較すると当てはまらない(学習の結果は量と質の積)
 - 放課後に数学の授業を行う学校の生徒の割合はシステム全体の成績と無関係
 - 宿題は学校全体の成績と正の関係
- 2003～2012年の比較可能なデータがあるほとんどの国と地域は、学校の教師と設備が改善に向かっている

“できる国”は、最も必要な場所に資源を
費やしている

数学的リテラシーの成績が優秀な国の方が教育資源を平等に割り当てる傾向にある



<#>

成績優秀者からの教訓

結果への影響が大きい

必須

即効性

普遍的成果への献身

教育現場の能力

資源の最も有効な活用

□ 方針と実践の一貫性

- システムのすべての部分で方針を合わせる
- 長期間にわたる方針の一貫性
- 実施の一貫性
- 忠実な実施
(過度な統制はしない)

指導システム

実現しやすい

コンテンツ構造と説明責任

お金の無駄

容易に達成可能

結果への影響が小さい

CAN

成績優秀者からの教訓

〈#〉

結果への影響が大きい

結果への影響が小さい

必須

即効性

普遍的成果への献身

教育現場の能力

資源の最も有効な活用

入口、指導システム

一貫性

学習システム

実現しにくい

実現しやすい

インセンティブ構造と説明責任

お金の無駄

容易に達成可能

〈#〉

つまり何を意味するのか

古い官僚制的システム

生徒の受容

近代的なイネーブリングシステム

一部の生徒が高いレベルで学ぶ

すべての生徒が高いレベルで学ぶ必要がある

カリキュラム、指導、評価

日常的な認知スキル、暗記学習

学習の学習、複合的思考方法、作業方法

教師の質

中等教育後から数年経過しただけ

高レベルの専門的知識を有する労働者

労働組織

「テイラー方式」、階層的

水平的、平等

説明責任

主に当局に対して

主に同業者とステークホルダーに対して

成績優秀者からの教訓

PISAについて詳しくは www.pisa.oecd.org

- 国内外の全出版物
- 完全なマイクロレベルデータベース

Eメール: Andreas.Schleicher@OECD.org

Twitter: SchleicherEDU

ありがとうございました！

そして、忘れてならないこと:

データが無ければ、あなたは個人的意見を言う人に過ぎない

自分の国の教育を改善するために
このデータをどう使えばよいかについて、
アイデアはありますか？

そのアイデアを発展させるため
に私たちと協力しませんか？

トマス・J・アレクサンダー
フェローシッププログラムに
お申し込みください！

<http://www.oecd.org/edu/thomasjalexanderfellowship.htm>